

「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかな道」

—— 居合道をはじめてみませんか? ——

居合道はどのような武道ですか?

居合道は、真剣または居合刀(模擬刀)で仮想の敵に対して、いかに早く抜刀し、納刀するかが、極意のように思われがちですが、本来は刀を抜かずして敵を従わせることで、すなわち「勝負は鞘の内にあり」と言われています。その精神は現代に至っても受け継がれています。そのことは「礼に始まり礼に終わる」しかも優雅にしてより格調高い理由なのです。相手との戦いを目的とせず「居合とは人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかな道」と現代にふさわしい武道といえます。居合道は形武道ですので、杖道と同様に防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。また、「剣居一体」と言われるように剣道と表裏一体の関係にあります。



居合道をはじめるためには何を準備すれば良いですか?

武具は真剣(日本刀)、居合刀(模擬刀)、稽古着は剣道着、袴、帯が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

武具: 刀

刀は真剣(日本刀)四段から五段で真剣を購入するのが平均的な例ですが高価な買い物になります。全日本剣道連盟の場合は六段以上の審査は真剣で受審。初心者は3万円~5万円の居合刀(模擬刀)をお勧めします。

- 1) 真剣(日本刀)、初心者は3万円~5万円の居合刀(模擬刀)、長さ: 例 2尺4寸3分(78cm)、刀袋

稽古着: 剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着: 上下同じ色を着用する。剣道着(紺、白、黒)
下は袴を着用(紺、白、黒)・帯

袴袴(透かし)	日本刀(真剣)	袴	鍔(透かし)

居合道の試合はどのような試合ですか?

居合道には流派(全国に約400流派)が多いため、従来は各人が演武を披露するだけでしたが、昭和41年の第1回全日本居合道大会では勝敗を判定し、優勝者を決めました。これを契機に昭和44年「全日本剣道連盟居合」7本が制定され、平成12年には12本になっています。居合道の試合は、2名の出場者が、真剣または模擬刀を用い、あらかじめ定められた全日本剣道連盟居合と各流派の形、合わせて5本を6分以内に演武し、その「修業の深さ」、「礼儀」、「技の正確さ」、「心構え」などを審判員が判定して勝敗を決します。審判方法については、全日本剣道連盟の「居合道道試合・審判規則」によります。

全日本居合道大会長崎県代表	居合道講習会 中学生も受講	居合道県大会 七段模範演武
居合道県大会女性剣士が活躍	居合道県大会女性剣士が活躍	居合道県大会七段模範演武

居合道を習っている人にはどんな人がいますか?

居合道を習っている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。

多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れています。武道経験のない方も大勢います。世代も、小学生10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまですので、どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ: 連絡先 (一財)長崎県剣道連盟 HP

「道場案内」または 居合道部長: 高木志伸 [メール shido120tanagata@gmail.com](mailto:shido120tanagata@gmail.com)

「傷つけず 人を懲らして 戒しむる」(杖道)

—— 杖道をはじめてみませんか? ——



杖道はどのような武道ですか?

杖道は、長さ4尺2寸1分(約128センチ)、直径8分(約2.4センチ)の白樫の丸い杖を用います。武器としては何の変哲も無い只の杖に過ぎませんが「突かば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも 外れざりけり」という古歌があり、槍、薙刀、太刀の要素を兼ね備えた千変万化する多種多様な技を持った武道です。その理念は殺傷を目的とはせず「**傷つけず 人を懲らして 戒しむる**」と平和的であり、現代に相応しい武道といえます。杖道は形武道ですので、防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。

杖道をはじめるためには何を準備すれば良いですか?

武具は**杖、木刀**、稽古着は**剣道着、袴、帯**が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

武具: 杖、木刀(革鰐付)

杖、木刀ともに材質は白樫です。木刀の鰐は、革鰐を選んで下さい。プラスチック製の鰐は安価ですが割れることがあり、危険を避けるため使用は禁止されています。

- 1) 杖 長さ: 4尺2寸1分(128cm) 直径: 8分(2.4cm)
- 2) 木刀 長さ: (全長): 3尺3寸5分(101.5cm)・柄の長さ: 8寸(24.2cm)・鰐: 革製

稽古着: 剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着: 上は剣道着(紺、白、黒)、下は袴を着用(紺、白、黒)・帯

杖	木刀(革鰐付)	剣道着	袴

杖道の試合はどのような試合ですか?

杖道の試合は、二組が同時に指定された技を演武し、3名の審判により判定を下します。杖道の形は太刀を持った相手に対して杖の技を繰り出す組形になっており、太刀を持つ方を「**打太刀**」あるいは単に「打」と言い、杖を持つ方を「**仕杖**」あるいは単に「仕」といいます。試合には数通りの方法がありますが、一般的には、二組が同時に指定された技を演武し、「仕」「打」両方の技の優劣を判定する方法と、「仕」のみの技の優劣を判定する方法があります。剣道、柔道、空手道のように、一本を取り、競い合う試合ではありません。判定は主審1名、副審2名の3名により。技の優劣の判定を下します。審判方法については、全日本剣道連盟の「杖道試合・審判規則」によります。

杖道講習会①	杖道講習会②	杖道講習会③

杖道を習っている人にはどんな人がいますか?

杖道を習っている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れていますが、武道経験のない方も大勢います。世代も、10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまですので、どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ: 連絡先 (一財)長崎県剣道連盟 杖道部長: 橋本 幸一 携帯電話: 090-9489-1645 メール ni.hasimoto@gmail.com

杖道演武 (橋本幸一部長)	長崎外国語大学 マラ・クラウディアさん	杖道段位審査会